

佐野市男女共同参画都市宣言キャッチフレーズ

認める 支える 分かち合う

個性かがやく参画社会

～6月23日から29日は男女共同参画週間です～

男性と女性がともに、「職場で」「学校で」「地域で」「家庭で」それぞれの個性と能力を發揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、日頃から一人一人の取り組みが必要です。「男女共同参画週間」を機会に、わたしたちの周りのパートナーシップについて考えてみませんか？

※佐野市は「男女共同参画都市」を宣言しています



男女共同参画週間啓発事業

●ポスターなどの展示

▶日時＝6月1日(水)～30日(木)午前9時～午後7時

※月曜日を除く。葛生図書館は午後6時まで

▶会場＝佐野図書館、葛生図書館

※関連図書の展示も行っています



●関連図書企画展

▶日時＝6月1日(水)～30日(木)午前8時30分～午後5時15分※土曜・日曜日を除く

▶会場＝パレットプラザさの(田沼行政センター2階)

知っていますか？ ～アンコンシャス・バイアス～

「アンコンシャス・バイアス」とは「無意識の思いこみや偏見」のことで、誰にでもあるものです。

自分の過去の経験から「男性は仕事をし、女性は家事をする」など、性別に関して無意識のうちに思いこんで行動したり発言したりしていませんか？ アンコンシャス・バイアスにより、誰かを傷つけたり、ときには自分の判断をゆがめてしまったりする可能性があります。自分の考え方のクセに気づくことで、一人一人が尊重される社会の実現を目指しましょう。

■問合せ＝人権・男女共同参画課 ☎(61)1140



「地域アプローチ」による少子化対策について

■問合せ＝総合戦略推進室 ☎(20)3012

本市では少子高齢化が進んでおり、15歳未満の人口は年々低下しています。

こうした状況に歯止めをかけるため、市では「地域アプローチ」による少子化対策に取り組みます。この取り組みは、「思春期、進学・就職期、出会い、結婚、妊娠・出産、子育て」といった生活環境が大きく変わるライフステージごとの課題を明らかにし、それぞれの課題に応じた市独自の少子化対策を市役所全体で検討していくものです。

そこで、まず市では、若手職員を中心としたプロジェクトチームを組織し、佐野市の実情に応じた対策を検討していきます。

●15歳未満の人口の推移

平成17年	16,710人 (総人口123,926人に占める割合：13.5%)
↓	
令和2年	13,011人 (総人口116,228人に占める割合：11.3%)



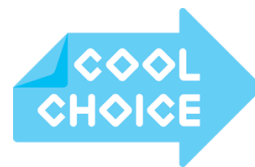
COOL CHOICE（賢い選択）を始めませんか？

■問合せ＝環境政策課 ☎(20)3013

知っていましたか？ これ以上地球の気温が上がると、地球はもう回復できない傷を負う可能性があることを。ここ100年で、日本の平均気温は約1℃上がりました。温暖化の大きな原因は、CO2などの温室効果ガスの排出といわれています。

COOL CHOICE とは？

CO2などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買い換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など日々の生活の中であらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。



▶**具体例**＝エコカー・エコ住宅・エコ家電・LED照明などに買い替える、電車やバスを利用する、エコドライブを心がける、宅配便を一度で受け取り再配達を減らすなど、低炭素なアクションを実践するさまざまな「賢い選択」があります。できることから、取り組んでみませんか？

▶**COOL CHOICE 啓発動画**＝市が制作した「COOL CHOICE」について楽しく学べる動画を市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



▲動画はこちら

6月は「環境月間」、6月5日は「環境の日」です

1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、国連は6月5日を「世界環境デー」と定めています。日本では6月5日を「環境の日」、6月の1カ月間を「環境月間」と定めており、市でも環境保全の啓発などに取り組みます。

